

労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	STOVE松本	事業所番号	2010201396
住所	松本市蟻ヶ崎1-1-24蟻ヶ崎中部ビル2F	管理者名	出水 雄二
電話番号	0263-31-0857	対象年度	令和5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容> 場所：STOVE松本事業所 内 日程：2023年9月27日 内容：各自が主に関わる業務ごとに全体を6チーム編成し、そのチームごとに業務についての内容をまとめ全員の前で発表した。発表会前に複数回のチームごとのミーティングを実施し、リーダーなどの役割を設定「小学生でも分かるように」を基本コンセプトとして各自が携わる業務をパワーポイントや動画なども使い発表した。 障害により関われない2名を除いた全利用者の一部の関係者にも参加いただいた。</p> <p><目的> 1. チームプレイの基本を体感し、自身の役割を理解しそれを果たす経験を積む 2. 他の利用者の業務を理解し、相互理解を深める 3. 他者の業務を知ることで、自身の興味のアンテナを広げる</p> <p><成果> チーム内の役割分担決め、発表内容をまとめる段階、実際の発表時のいずれの過程でもスムーズにいくことは無かったが、全てのチームがそれらの細かい困難を乗り越えて当日は素晴らしい発表会が開催でき、利用者からも「緊張したが、とても良い機会となった」との感想が多く聞かれた。 (課題) 障害から他者と関われない利用者に対して、マッチする役割の設定が必要と感じた。</p>	<p><活動の様子></p>  <p>(「ネット販売チーム」による発表の様子) 取り扱う商品の現品の紹介や、どのように売上を上げる活動をしているかについて発表役の利用者が紹介している様子。画面に映している資料は、別の資料作成役による成果物。発表後は、聞き役の利用者から質問や意見なども出てとても盛り上がる内容となった。</p>
---	--

連携先の企業や事業所等の意見または評価

見学に来ていただいた関係者からも、これらのことを「A型利用者」の方ができていることに、失礼かもしれないが正直びっくりしたとの感想をいただくことができた。実際に当日の発表を迎えるまでのまとめる作業の中では、チーム内の不協和やリーダーからの悩みなども多く聞かれたが、スタッフがサポート役（あくまで主は利用者）として入り、情報の交通整理をしたりといったフォローをした。これら、発表当日以外の活動においても利用者の中に多くの気づきやブレイクスルーしていく瞬間があり、一般就労に向けての有効な活動であったと実感した。

連携先企業（担当者）	長野県信濃学園（田中様）
------------	--------------

利用者からの意見・評価

利用者の感想
 ・とても緊張しました。皆さんとても一生懸命に用意された様子が伝わってきてすごいなあって思いました。こういう機会でないと話せない人とも話せてよかったです。・発表、無事に終わりました！Aチームは、声が大きく出てペースも良かったと言われ、うれしかったです。・みなさんの話をたくさん聞けていい機会だったと思います。特に印象に残ったのは、どのチームも変わらず頑張っていることが見えた事でした。僕も一層頑張ろうと思いました。・経験を重ねれば上達する、ということが分かったので、いろんなことに挑戦していこうと思いました。概ね好意的な感想でしたが、極一部の利用者から「緊張した。次はやりたくない」という感想もありました。